



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「次代へ～次の世代につなぐ」

| | | |
|-------------------------|--------------------------------------|------------------------|
| 国際会長主題 | 「フェロシップとイパ外で次の100年へ」 | Samuel Chacko (India) |
| アジア太平洋地域会長主題 | 「新しい時代とともに、エルガントに変化を」 | Shen Chi Ming (Taiwan) |
| 西日本区理事主題 | 「原点を知り将来に生かす」 | 田上 正 (熊本むさし) |
| 中部部長主題 | 「明るく 清く 美しく～よき隣人として (befriending) -」 | 山内 ミハル (金沢) |
| 名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』 | | |

今月の聖句

その家に入ったら、『平和があるように』と挨拶しなさい。家の人々がそれを受けるにふさわしければ、あなたがたの願う平和は彼らに与えられる。もし、ふさわしくなければ、その平和はあなたがたに返ってくる (マタイによる福音書 10章 12節～13節)

強調月間 Kick-Off PR

7月例会等ご案内

◎7月第1例会(クラブ総会・裸で語る会)

(クラブ総会)

日時：7月9日(土) 16:45～18:45

会場：名古屋YMCA 5階

担当：山田英次君・橋爪良和君

開会宣言・点鐘：山田英次現会長

ワイズソング

21-22 活動報告・決算報告

会長引継ぎ

22-23 活動計画・予算

閉会宣言・点鐘：橋爪良和新会長

(裸で語る会)

日時：7月9日(土) 19:00～

会場：四川園 TEL 732-7376

会費：3,500円

◎7月第2例会

日程：2022年7月21日(木) 19:00～

会場：名古屋YMCA

◎第26回中部部会&金沢ワイズメンズクラブ 創立75周年記念例会

日程：前夜祭：2022年9月23日(金・祝)
18:30～20:30

(参加費：4,000円)

中部部会：9月24日 13:30～14:30

記念例会：9月24日 15:00～19:30

会場：金沢ニューグランドホテル

(登録費：12,000円)

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 6月末一在籍者 18名
(内広義会員 2名)

出席者 15名 (Make up 1名)

出席率 93.8%

【特別ファンド】

6月のニコボックス +12,500円

ピアノ寄付関係 -228,220円

現在保有額 1,555,246円

6月第1例会報告**『恩師との不思議な縁』**

柴田洋治郎

私（柴田）は新聞の文化欄を好んでみえています。特に興味深いのは日経新聞の日曜版で、今回卓話をお願いした、出版社ゆいぽおとの山本直子代表との出会いも、今年1月18日付の同紙に掲載された文化欄に山本さんの名前を見つけたのがきっかけです。

卓話の内容に関しては、当日お配りしたレジユメのとおりですが、さすがプロの編集者が纏めただけあって、ポイントをついたものだと思います。又スピーチも大学の講師もされているようで、レジユメに沿って簡潔に説明して頂きました。



私は常々書籍の中でも時代もの、歴史ものが好きで、最低週一回は最寄りの書店に足を運び本を渉猟しています。レジユメの中にもあった神坂次郎著「元禄御昼奉行の日記」も日経新聞に取り上げられて早速読んで、同じサラリーマンである現在の自分と元禄時代の中堅役人である朝日文左衛門を重ね合わせると、何と破天荒で自由な生き方をした文左衛門が羨ましくもあり、反面、厳しいと思われる階級社会の中でよくこんなことが許されたものだとの感想も持ちました。

次に、出版業界の話も興味深く聞きました。最近では目当ての本をパソコンでネット検索し、アマゾン経由で購入する方が手っ取り早いのは確かです。平成以降街の本屋さんが減っているのも私自

身実感しています。かと言って良い本や作家が減っているとは思われず、これからも本を取り巻く世界は深くバラエティーに富んだものを私たちに提供してくれるものと思っています。

【参加者】浅野、太田、柴田、鈴木、谷口、中江、橋爪、長谷川、松本、真鍋、八木、山田、山村、鷺尾

**6月第2例会報告**

1. 岡山の西日本区大会報告に参加した浅野君とWeb参加した橋爪君より報告があった。

2. 総会（裸で語る会）の件

7月9日（土）16時45分から18時45分名古屋YMCAにて開催することとした。議事終了後の食事会四川園を予定。詳細はブリテンにて。

3. 新年度予算について

ラスース ANN の食事代値上げの件は了承し、次年度予算を立てることとした。但し会費の値上げは行わない。「クラブとして何をしたいのか」を確認しつつ、個人的な意思で支出する特別献金をクラブとして支出していた点など支出の抜本的な見直しを行い、特別会計も視野に入れ、一般会計の単年度の収支は赤字にしないことを確認した。詳細は総会にて検討のうえ決定する。（松本）

【参加者】浅野、太田、木村、柴田、谷口、橋爪、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾

野村さんを偲んで

橋爪 良和

野村秋博さんが最後に第1例会に出席された夜のことは、今でも鮮明に覚えています。雨の降る小寒い夕方でした。金城学院のお仕事で到着が遅れた野村さんは会場に入ると苦しい顔で椅子に座って動きません。先に参加していた靖子メネットがしばらく介抱されていました。やがてタクシーで帰宅。それが長い療養の始まりでした。

会話や身体が自由にならないことは、どれほどご本人にとって辛かったでしょうか。長い間、東海クラブの一後輩としておつきあいをさせて頂き、思慮深く、いつも威厳のあった野村さんをよく知る私にとっても、心が痛む思いでした。



7年近い闘病生活を経て、2022年4月21日、穏やかなお顔で天に召されました。86歳でした。今頃は天国で安らかに過ごしていることでしょう。野村さんと最初にお会いしたのは45年くらい前のことで、私は20代半ばでした。東海クラブに入会して何も分からない生意気な若造だったと思います。それでも仲間として同様に接してくれたことは、今でも忘れません。私は何より、YMCAの何たるかも知らず、迷い込んだようにワイズメンに入会した者です。まして16歳も年の離れた私に、関心を持つ意味もなかったと思います。

しかし野村さんは何かある度に声をかけてくれました。とくに野村さんが日本区理事に就任した年、初のクラブ会長に就いた頃からはワイズ日

本区やYMCAの話しをよく聞くようになり、気がつけば私は区役員や名古屋YMCAや同盟の役員を何期も続けることになってしまいました。今思うと、すべて野村さんの掌の中で動き回っていただけかもしれません。

そして名古屋YMCAの財政危機と上前津本館売却という苦しい時代を迎えます。当時は野村さんが理事長。混乱の中、私には全くふさわしくない常議員会議長という役職に就いて、最も近いところで野村さんの仕事を見てきました。「組織は人、人は人事によって生きる」という言葉をよく聞きました。本館売却とその後の財政立て直しは野村さんの地元財界、企業間との幅広い人脈・交渉力なしには難しかったでしょう。難しい物言いと誤解を受けている面があるかもしれませんが、無口な分、水面下でどれほど足を動かしていたことか。誠実で粘り強い仕事ぶりは、私にはとても真似出来ないことです。



同志社学生YからのYMCAそしてワイズに対する愛情は、何が原動力となったのでしょうか。もちろんクリスチャンとしての思いは当然です。私は長い間の野村さんとの係わり中で思います。それは次代を担う人を育てること、未来につなげていくことの大切さを最後まで貫きたいという野村さんの強い意志の表れだったのではないのでしょうか。

長い間、本当にお疲れさまでした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

西日本区大会に参加して

浅野 猛雄

6月11日(土) **Reborn** 始まりの地からと題して第25回西日本区大会が最初の開催地で有る岡山に於いて約500名の参加で、単日で開催されました。

東海クラブからは私だけの参加でしたので当日のプログラムに沿ってご報告をさせていただきます。来賓の日本YMCA同盟総主事からはウクライナ支援の募金総額が2,200万円集まった事が報告された。

メモリアルアワーでは東海クラブの大島さんと野村さんのそれぞれの写真と功績が報告されました。

代議員会報告は、私は出席致しませんでしたので詳しくはお伝え出来ませんが、次年度の次期理事に名古屋クラブの深谷聡君が指名された事と、今まで東日本区に所属していた沖縄が西日本区に所属する事になりましたが、定款の改定が必要なので再度の議決が必要と報告されました。



渡辺中部部長の部長報告はコロナ過で部長公式訪問もままならず、金沢クラブの入会式はリモートで行ったが、役員会等はリモートで何回も行い意思の疎通を図った事が報告され、東海クラブの活動ではクリスマスカードコンテストが紹介をされました。

事業報告ではEMC事業主任から西日本区の平均出席率は70%で、90%台のクラブが約2割、70から90%のクラブが約5割で有ると報告され、60名が入会110名の退会があったが6月の退会者が多いので今月末が心配との事でした。

事業表彰と理事表彰が有り、東海クラブの表彰は別に書きますが、メネット事業最優秀賞にはヘアドネーション事業に最も顕著な功績が評価されブラザークラブの奈良クラブが受賞されました。又、理事特別賞を名古屋クラブの小尾さんが受賞されました。

理事引継式で新山理事から田上次期理事にバッジが引継がれ、田上次期理事は理事方針でご自身のワイズ活動の歴史に触れられ、サッカー部の先輩の菅さんに誘われ、1991年3月熊本ジェーンズクラブに入会した時に、自分の知らない世界が広がり、自己研鑽が出来ると思ったそうです。その後30数名のスポンサーになったとの事です。

◎東海の受賞した賞

BF 献金 100%達成賞
Yサ・ユース献金 100%達成クラブ賞
FF 献金 100%達成賞
CS 献金 100%達成賞
RBM 献金 100%達成賞
TOF 献金 100%達成クラブ賞
YES 献金目標達成クラブ賞

ワイズで影響を受けた人として、彦根シャトーの正村さん、京都パレスの大野さん、岡本さん、森田さん(クラブ名はいずれも当時の所属クラブ名)を挙げられ、又、弱者に寄り添うのがワイズメンと教えられたクリスチャニティー委員会の名古屋クラブの長井さん、西村さんに影響を受け長い間クリスチャニティー委員長を務めた事、ご自身の職業柄から分かっていた病に有っても、いつも満面の笑顔でいた和歌山紀の川クラブの坂本さんが印象に残っていると話されました。理事のスローガンは「立ち上がれワイズ モットーと共に」です。

懇親会では奈良クラブの中井さん、林秀彦、成子ご夫妻、濱田さんと若草山以来の交流を致しました。

朝8時前に家を出て、帰宅が午前零時ちょっと前で疲れた大会でしたが、リモートで参加をした橋爪さんからは「これはこれで疲れると」メールがありました。